

はじめに

今、日本では、人口減少及び少子高齢化社会を迎えています。世界に目を転じれば、経済のグローバル化、アジア諸国の台頭による我が国の相対的地位の低下など、社会が大きく変革していく中、子どもたちがこれから生きていく時代には、様々な困難が待ち受けています。

また、教育の世界でも大きな変革の時期を迎えています。国においては、改正された「教育基本法」において、新しい時代の教育の基本理念が示されるとともに、学習指導要領においては、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく伸ばし、子どもたちの「生きる力」を育むことが益々重要であることが示され、様々な教育活動が展開されています。

しかしながら、依然として学習意欲や学力・体力の低下、基本的な生活習慣の乱れ、社会性や規範意識の低下など解決すべき課題も多く、いじめや不登校児童・生徒への対応、東日本大震災を教訓とした子どもたちの安全確保も大きな課題となっています。

このような中、大阪府では、今後の10年を見据えた大きな方向性を示した「教育振興基本計画」を策定しました。この基本計画には、「大阪の教育がめざすもの」として、大阪の子どもたちが、大きく変化する社会の中で、社会経済情勢や国際社会の中で、自立して力強く生き抜き、また、夢や志を持ち、粘り強く果敢にチャレンジし、次代の社会を担う自立した大人となるよう、人づくりを進めることを目標としています。また、その実現に向けては、教員の力を最大限に引き出し、子どもの学びをしっかりと支えることが重要であり、教育の最前線である学校現場の活性化、その要となるミドルリーダーの育成が不可欠です。

平成8年度より実施している「民間企業等派遣研修」は、大阪府内公立小・中学校、府立学校の教員を1年間という長期にわたり民間企業等へ派遣し、教員が社会の構成員としての視野を広げ、教員としての資質向上を図るとともに組織運営のリーダーとしての指導力の充実に図ることを目的としています。100名を超えるこれまでの受講者は、その成果を活かして、学校運営や業務改善、組織の活性化など、学校現場で成果を上げています。

本報告書は、平成23年度の受講者が1年間の研修を終え、研修での学びや体験等を活かし、平成24年度に各所属校等で組織運営の活性化等に向け取り組んだことをまとめたものです。今後の各校の取組に参考にさせていただければ幸いです。

最後に、本研修の実施に当たり、多大の御尽力をいただきました関係者の方々に、厚くお礼申し上げますとともに、引き続き御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年6月

大阪府教育センター
所長 藤村 裕爾